

コミュニティ・スクールの現状について



野洲市 コミュニティ・スクール 令和5年 スタート

～地域とともにある学校づくり・学校を核とした地域づくり～



コミュニティ・
ちいき
スクールと地域
がっこうきょうどうかつどう
学校協働活動の
すいしん
推進をめざして

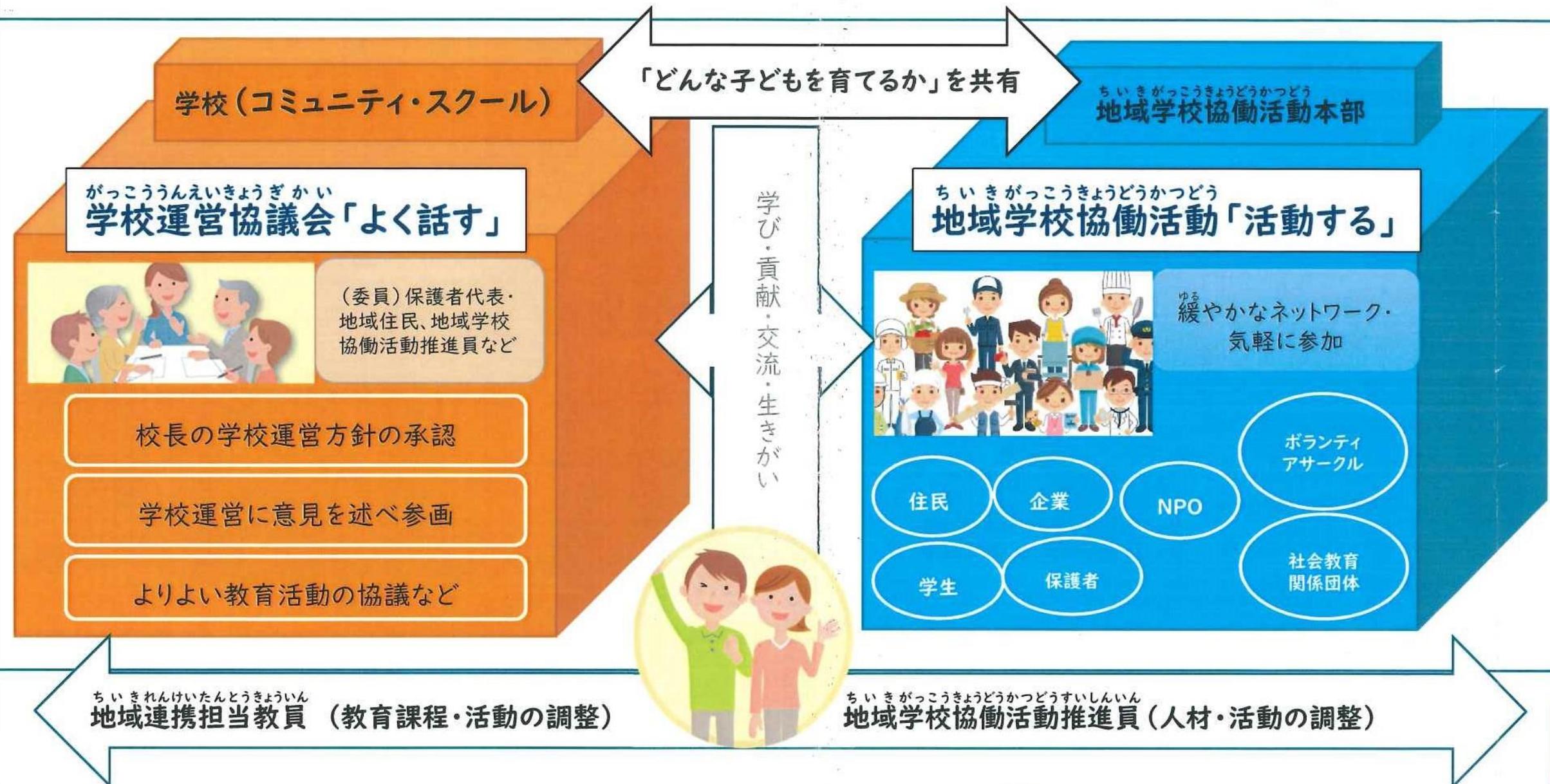


コミュニティ・スクールとは・・・？

学校と地域住民が力をあわせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校**」への転換を図るための有効なツール

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第47条の5）

学校と地域の連携・協働推進体制



令和4年度 コミュニティ・スクール準備

篠原小学校コミュニティ・スクール設置までの経過

コミュニティスクールに向けて

- ・R4.4月 : 学校教育課との協議
- ・R4.5.17 : 第1回学校評議員会・・コミュニティスクール化に向けて意見交換
- ・R4.5月 : SCアドバイザー高木氏&生涯学習課 小澤さんとの協議
- ・R4.5月9日: 学校評議員(学区連合会長)との協議
- ・R4.5月 : 学校応援応援団会長との協議
- ・R4.6月23日: 第1回 コミスクしやべり会・・これまでの議論について
- ・R4.7月11日: 村田製作所を訪問して(山口氏、阿曾氏、川西氏)
- ・R4.7月12日: キックオフ会議・・野洲市コミュニティスクール構想について
- ・R4.7月26日: 野洲養護学校との協議
- ・R4.8月17日: 第2回 コミスクしやべり会・・6月23日以降について協議
- ・R4.10月25日: 第3回コミスクしやべり会
- ・R4.12月26日: 第4回コミスクしやべり会(合同学習会)「篠原のことを知ろう①
- ・R5.2月21日: 第5回コミスクしやべり会・・今年度の取組について
- ・R5.4月5日: 新年度スタート「遠足の下見」伊勢道から希望が丘の散策

篠原小学校らしいコミュニティ・スクールとは、 議論してきたこと

〔 子どもの実態 〕

- ・素直で何事にもまじめに取り組む。
- ・仲間に温かい声かけができ、協力的である。
- ・自主性、粘り強さが弱い。
- ・自分の考えを自分の言葉で表現するのが苦手である。

〔 地域の実態 〕

- ・地域の文化の継承等に関し協力的な方が多い。
- ・多様な施設がある（企業、老人福祉施設、野洲養護学校等）
- ・継続した学校応援団活動（図書ボランティア中心に）

どんな子どもに？

(予測のたたない未来を自分の足でたくましく歩けるために)

自分で考え、思考し、粘り強くやってみることが
できる子ども

篠原の地域を誇りに思い、

『好きです、篠原』といえる子ども



篠原小学校らしいコミュニティ・スクールとは・・・ どんなことができそうか

(1) 課題

教職員が地域の遺産を学び、教育課程の見直しを進める。
こども園と協働したコミュニティスクールづくりの推進を図る。

(2) 具体的な取組

- ①地域の遺産を地域の人とともに学び、教育課程の検討
- ②情報発信と地域人材の発掘
- ③学校行事と地域行事の共同開催検討
- ④コミスクおしゃべり会（地域・保護者編）の開催



夕日が丘



大篠原～ 伊勢道 ～ 希望が丘縦断



陶芸教室



田植え体験



茶道体験

令和5年度 コミュニティ・スクール スタート

【令和5年度 学校教育目標】

(得意なこと、苦手なこと、いろいろあるけれど)

自分が好き、友だちが好き、家族が好き、
学校が好き、そして地域が好き!

合言葉「好きです、篠原」

【めざす学校の姿】

- ・子どもが「明日行くのが楽しみ」と思える学校
- ・保護者が通わせたいと思う学校
- ・教職員が子どもとともに成長する学校
- ・地域が協力したいと思える、開かれた学校

【めざす子どもの姿】 仲よく 元気に 学べる 篠っ子

- | | |
|-----|----------------|
| 仲よく | ・みんなと力を合わせる子 |
| 元気に | ・たくましい心と体をもった子 |
| 学べる | ・自ら学び、考える子 |
| 篠っ子 | ・地域や学校を大切にする子 |



篠原小学校コミュニティ・スクール

～『好きです、篠原』といえる子どもを育てよう～

〔会長〕
堤 敏次 様

〔副会長〕
木村 貞樹 様

〔委員〕
小澤 郁乃 様
富田由紀子様

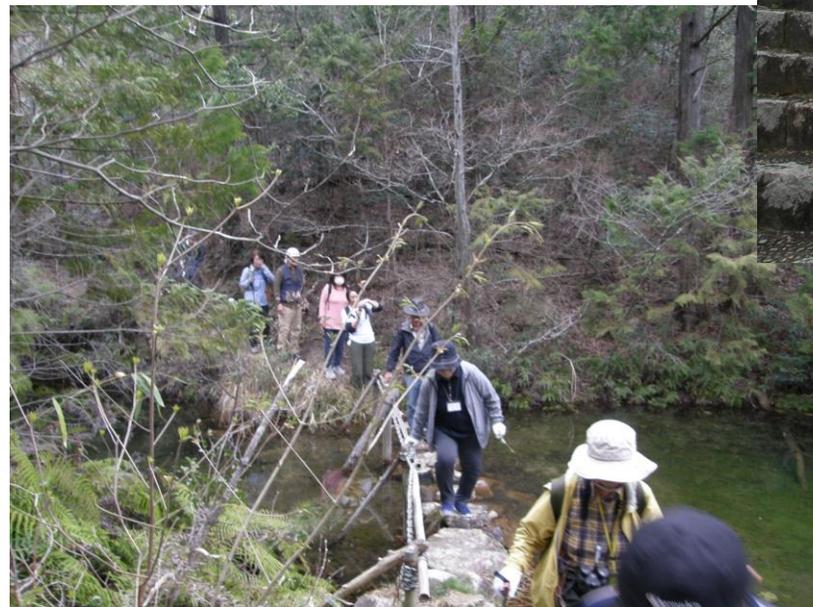


今年度の取組

- ①地域の遺産を地域の人とともに学び、
教育課程の検討
- ②情報発信と地域人材の発掘
- ③学校行事と地域行事の共同開催検討
- ④コミスクおしゃべり会（地域・保護者編）の開催



教職員と地域の方とともに篠原の自然・歴史を学ぼう!



篠原小職員: 9人
学校外: 5人
山部会: 9人 計23人



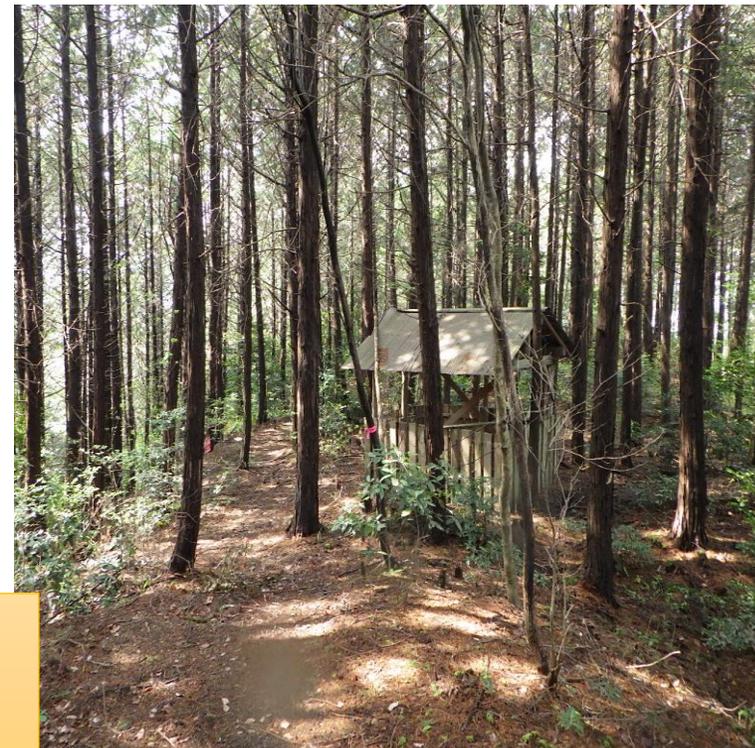
5月2日(火) 全校たてわり遠足



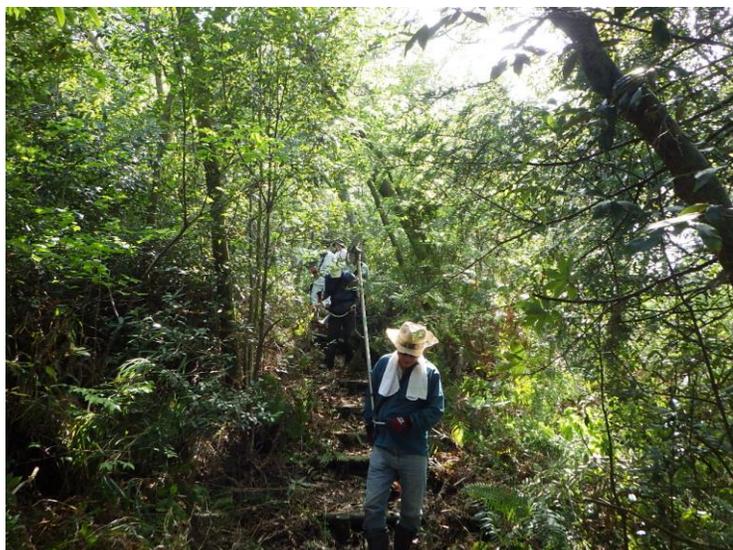


4月14日(金) 1年生交通安全教室





4月20日(木)
夕日丘の整備(ボランティア&小学校・こども園の先生方)







PTAスローガン 「篠っ子たちよ みんなで築こう 新時代！」

5月12日(金)
学習参観
&
PTA総会



**5月16日(火)
避難訓練(地震・火事)**



**「訓練、訓練
地震が起こりました。」**

**みんな机の下に隠れ
て机の脚をもっています**

**運動場へ避難しています。
合い言葉「おはしも」しっか
り守っています。**





5月17日(水)
びわ湖ホール声楽アンサンブル学校巡回公演



1年生 タブレット学習



6年生 銅鐸博物館



3年生 校区探検



コミュニティ・スクールの魅力

子どもにとっての魅力

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員にとっての魅力

- 地域の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能となります。
- 地域人材を活用した教育活動が充実します。
- 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。
- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

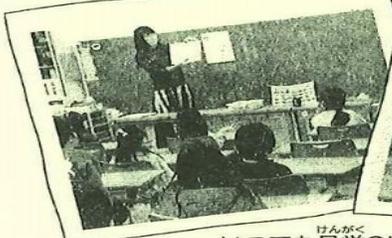
地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決につながります。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

しのっこ応援ボランティア募集!

地域学校協働活動とは、子どもたちの学びや成長を目的に、地域のひとたちと学校が連携・協働して、想いを出し合いながらカタチにしていく活動です。その中の一つに「しのっこ応援ボランティア」があります。現在、しのっこ応援ボランティアでは、朝の読み聞かせや、お昼休みの「しのっこサロン」、図書室の整理など、様々な活動をしています。「できる時に、できる分だけ…」のちょこっとボランティア、みなさんもいかがですか?

朝の読み聞かせ活動♪



毎週木曜日の朝、各学年を順番にまわっています。

いつでも見学OK!です。

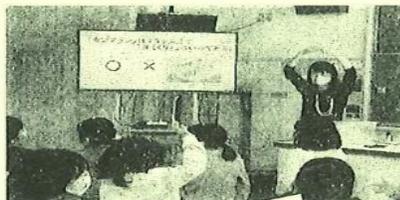
図書室の整理♪



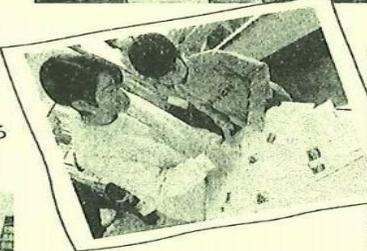
子どもたちが行きたいと思える図書室づくりをめざしています。



しのっこ・わくわくサロン♪



学期に一度、水曜日のロング昼休みにサロンを開催。クイズや読み聞かせなど、テーマは、子どもたちの関心事をみんなで話し合っで決めています!



おしゃべりミーティング♪



どんなことを大事に活動していこうか…、今度のサロンはどうする?最近の子どもたちの様子は?子育ての関心事は?…と、いろいろなおしゃべりから活動につなげています。(不定期開催)

おしゃべりに参加するだけでもOKですよ!

学校行事のお手伝い♪



卒業式や昔遊びなど、子どもたちの行事や活動で運営や準備などの応援が必要な時はボランティアとしてお手伝いしています。

お問い合わせ TEL 077-587-0179

篠原小学校「地域学校協働活動(しのっこ応援団)」担当 小澤・真

今年度も「好きです、篠原」を合い言葉に、
児童も保護者・地域の方も教職員も
学校に来るのが楽しみだと思える
元気な学校づくりに取り組んでいきます

